



第43期 事業報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで



エヌアイシ・オートテック株式会社

株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第43期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の事業の概況及び決算につきまして以下のとおりご報告申し上げます。

当事業年度における世界経済は、米国において景気回復傾向が鮮明となる一方で、新興国はその成長に鈍化が見られ、欧州では停滞感があるなど、景況感に地域格差が生じている状況で推移いたしました。

また、わが国経済については、日本経済が再び成長軌道に回復することを目標とした経済政策（アベノミクス）を背景に、国内景気は緩やかながら回復傾向が見られましたが、円高是正による輸入品価格の上昇や、消費税率の引き上げが決定されるなど、先行きの不透明感が払拭できない状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社は、FA装置（FA：Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）等の筐体を使用される大口案件を継続的に受注したことによってアルファフレーム部門の売上高は大きく伸びました。また、装置部門では生産活動の海外シフトを図る自動車業界向けのFA装置やフラットパネルディスプレイ（以下、「FPD」という。）業界向けの大型カスタムクリーンブース等については、確実に受注を確保してまいりました。

利益面につきましては、大口案件の継続受注に加え、当社主力製品「アルファフレームシステム」の拡販ツールである3次元自動設計システム「カクチャ™」及び組立省力化システム「マーキングシステム™」を活用した結果、設計及び組立効率の向上による利益率の改善等が図られたことに加え、外注先との連携による製造原価の低減活動等により、大幅に伸びました。

これらの結果、当事業年度の売上高は、5,456百万円（前期比1.7%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は335百万円（前期比73.9%増）、経常利益は344百万円（前期比72.1%増）、当期純利益は205百万円（前期比70.6%増）となりました。



アルファフレームシステム

◆ アルファフレーム部門

アルファフレーム部門におきましては、「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用し、アルミニウム合金製構造材の付加価値を高めることで、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。一般の材料・部品としての売上高は、当事業年度の前半で順調に推移したことによって、前事業年度より増加となりました。また、上記の各拡販ツールを活用したFA装置等の筐体を使用される大口案件も前事業年度の後半から順調に増加し、売上高は大幅に伸びました。この結果、当部門の売上高は2,582百万円（前期比57.5%増）となりました。

◆ 装置部門

装置部門におきましては、当社の技術力を活かした質の高いFA装置の提案活動を推進いたしました。前事業年度では自動車部品製造企業からの機械設備投資において集中的な案件がありましたが、当事業年度では投資意欲に一服感が見受けられ、減少となりました。なお、前事業年度低迷しておりましたFPD業界向けクリーンブースに関しましては復調傾向にあり、前事業年度より大幅な増加となりました。この結果、当部門の売上高は1,737百万円（前期比29.3%減）となりました。



カップ式洗浄装置

◆ 商事部門

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類等の消耗品が、ほぼ前事業年度並みで推移いたしました。なお、機械設備関係は前事業年度が好調であったことの反動もあり、当事業年度の前半は低調に推移いたしましたが、後半からは前事業年度並みに復調いたしました。しかしながら、前半の低調を取り戻すまでには至らず、通期では減少となりました。この結果、当部門の売上高は1,136百万円（前期比10.2%減）となりました。

平成26年3月期の期末配当につきましては、1株当たり普通配当14円とさせていただきます。当社は、将来の収益力向上を図るために継続的な研究、開発投資を行いながらも内部留保の確保を図りつつ、「株主に対する利益還元」を重要な経営課題の一つとして捉え、経営成績やキャッシュ・フローの状況などを勘案し、株主の皆様にご理解していただけるよう安定的及び継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。



新工場〔技術センター（立山工場C棟）〕

この新工場完成を機に生産体制の一層の充実を図り、よりコストパフォーマンスに優れた製品群の提供に努め、お客様、株主、社員及び地域社会のご期待にお応えするべく、全社を挙げて社業の発展を図る所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



立山工場

なお、アルファフレームシステムの拡販ツールである「カクチャ™」や「マーキングシステム™」のサービスを充実させ、今後増加が見込まれている大型構造物案件等に対応するために計画した新工場〔技術センター（立山工場C棟）〕が平成25年12月に完成いたしました。この結果、アルファフレームの切断工程からマーキング工程に至る一貫した生産ラインの拡張・充実が図られ、大型構造物の案件等への迅速な対応が可能となる生産環境が整いました。この新工場は、新たな付加価値創造をサポートする研究開発棟としての役割も担っていく予定であります。

2014年6月

代表取締役会長 CEO

西川 浩 司

事業の概況

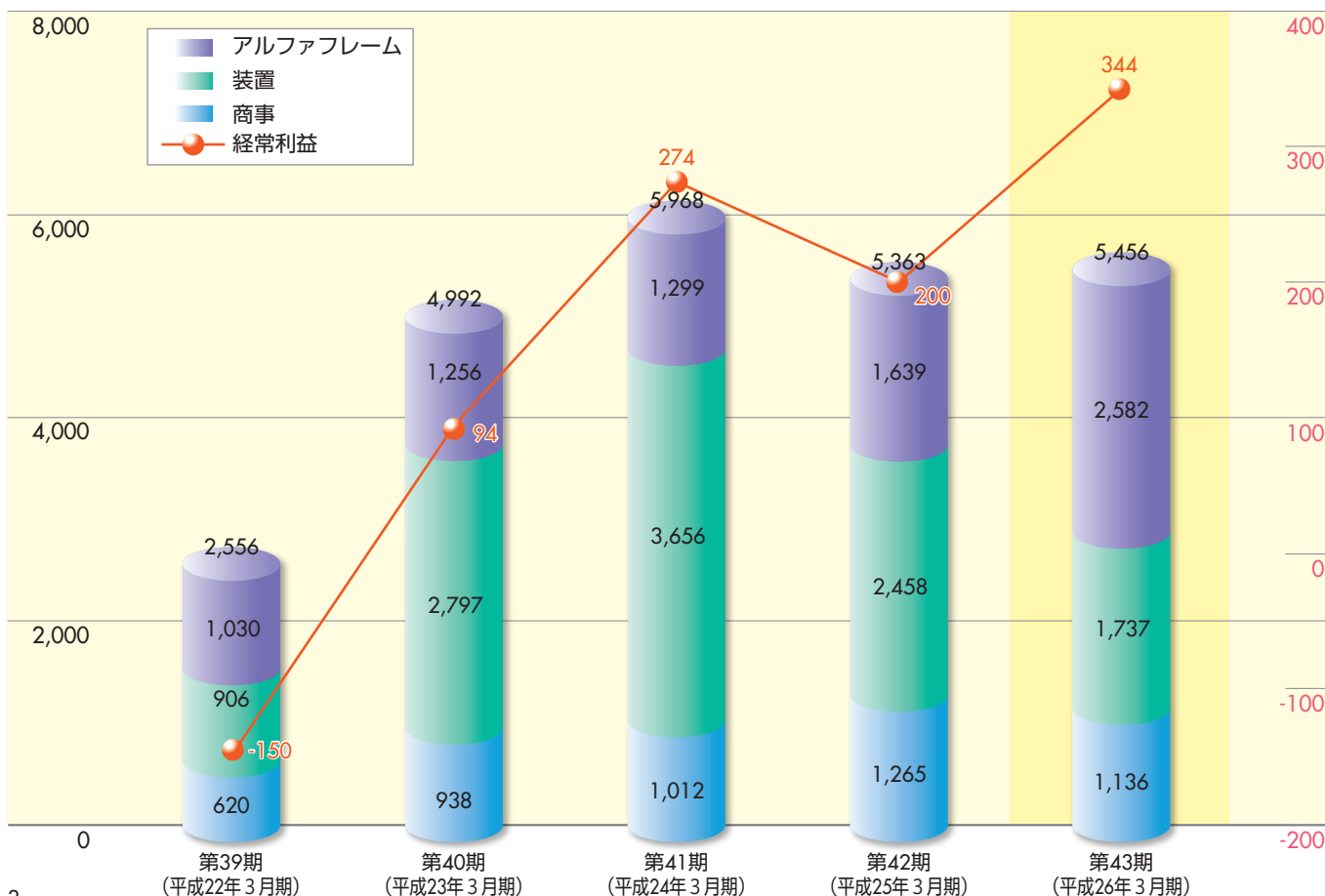
セグメント別の売上構成

(単位：千円)

区 分	第42期		第43期		増 減	
	平成25年3月期		平成26年3月期		売上金額	前期比
	売上金額	構成比	売上金額	構成比		
アルファフレーム部門	1,639,200	30.6%	2,582,535	47.3%	943,336	157.5%
装置部門	2,458,979	45.8%	1,737,799	31.9%	△721,181	70.7%
商事部門	1,265,330	23.6%	1,136,160	20.8%	△129,171	89.8%
合 計	5,363,510	100.0%	5,456,494	100.0%	92,984	101.7%

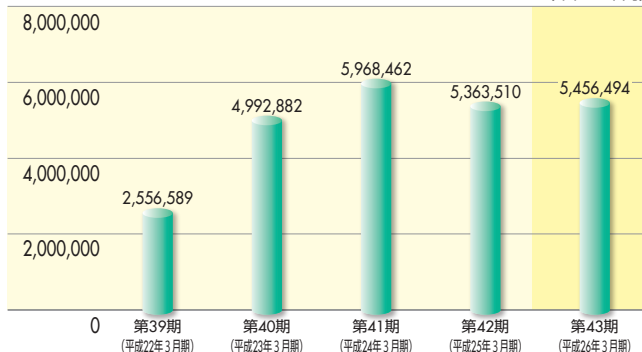
セグメント別売上高及び経常利益の推移

(単位：百万円)



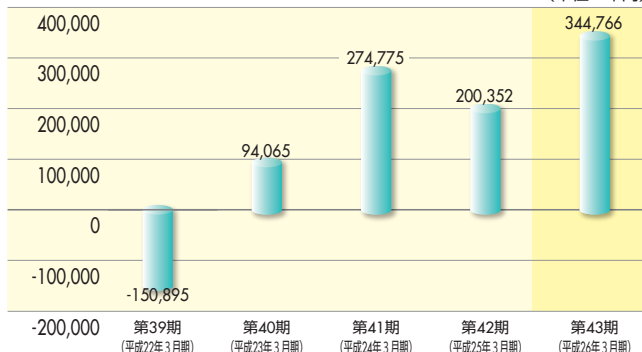
売上高

(単位：千円)



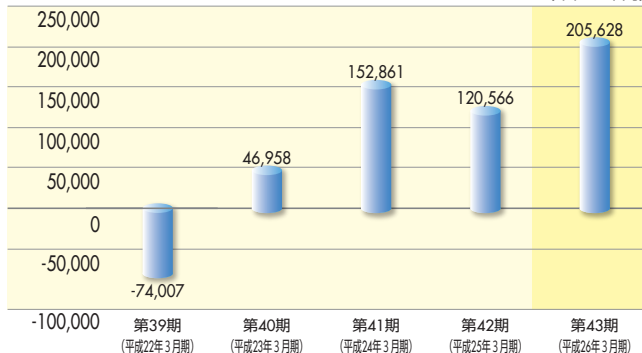
経常利益

(単位：千円)



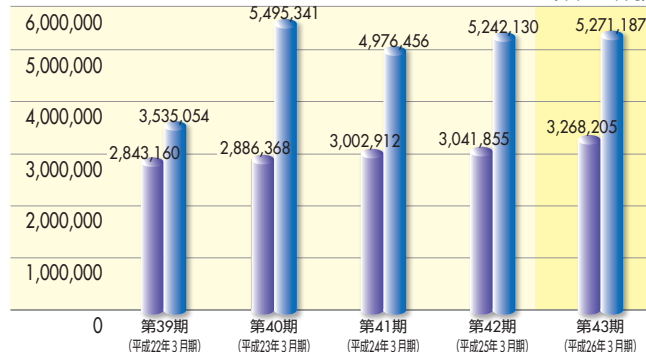
当期純利益

(単位：千円)



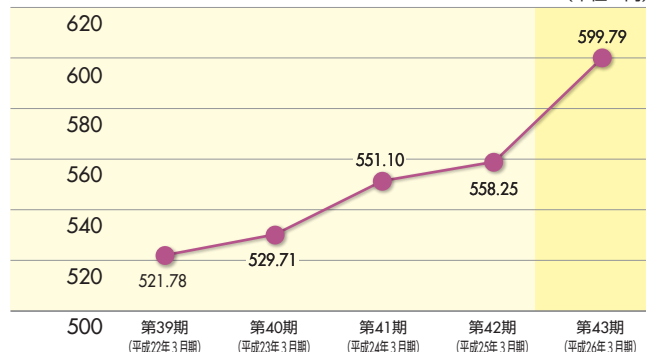
純資産額/総資産額

(単位：千円)



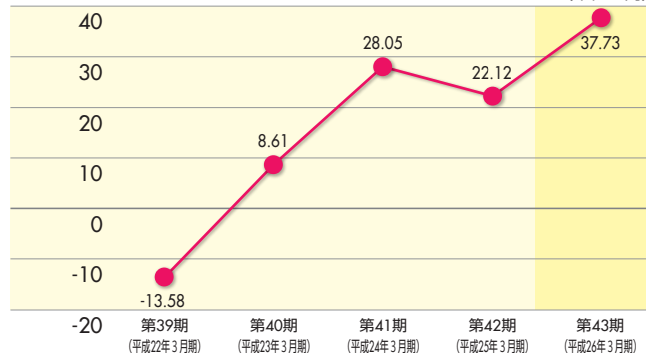
1株当たり純資産額 (注)

(単位：円)



1株当たり当期純利益 (注)

(単位：円)



(注) 平成25年4月1日付で、普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。第39期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

貸借対照表 (平成26年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目		金 額
資 産 の 部		
流 動 資 産		3,176,803
固 定 資 産		2,094,384
有 形 固 定 資 産		1,452,128
無 形 固 定 資 産		16,039
投 資 そ の 他 の 資 産		626,216
資 産 合 計		5,271,187
負 債 の 部		
流 動 負 債		1,801,716
固 定 負 債		201,266
負 債 合 計		2,002,982
純 資 産 の 部		
株 主 資 本		3,149,774
資 本 金		156,100
資 本 剰 余 金		146,100
利 益 剰 余 金		2,881,998
自 己 株 式		△34,423
評 価 ・ 換 算 差 額 等		118,430
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		118,430
純 資 産 合 計		3,268,205
負 債 及 び 純 資 産 合 計		5,271,187

損益計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日) (単位：千円)

科 目		金 額
売 上 高		5,456,494
売 上 原 価		4,242,058
売 上 総 利 益		1,214,435
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		878,963
営 業 利 益		335,472
営 業 外 収 益		9,300
営 業 外 費 用		6
経 常 利 益		344,766
税 引 前 当 期 純 利 益		344,766
法 人 税 等		139,137
当 期 純 利 益		205,628

株主資本等変動計算書 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本							評 価 ・ 換 算 差 額 等		純 資 産 合 計		
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金			
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金	利益剰余金合計						
当 期 首 残 高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	1,286,660	2,725,410	△ 34,410	2,993,199	48,656	48,656	3,041,855
当 期 変 動 額												
剰 余 金 の 配 当						△ 49,040	△ 49,040		△ 49,040			△ 49,040
当 期 純 利 益						205,628	205,628		205,628			205,628
自 己 株 式 の 取 得								△ 13	△ 13			△ 13
株主資本以外の項目の 当 期 変 動 額 (純 額)										69,774	69,774	69,774
当 期 変 動 額 合 計	—	—	—	—	—	156,588	156,588	△ 13	156,575	69,774	69,774	226,349
当 期 末 残 高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	1,443,248	2,881,998	△ 34,423	3,149,774	118,430	118,430	3,268,205

当社は、地球環境に優しくリサイクル性に優れたアルミ構造体「アルファフレーム[®]システム」の開発・設計・製造・販売を行う「アルファフレーム部門」。アルファフレーム[®]の特徴を活かし、各種工場で使用される洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化装置及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行う「装置部門」。上記2部門のメーカー機能を活用した設備導入提案営業及び工業生産財を取り扱う「商事部門」。これら3部門の相乗効果による高付加価値技術の提供を目的とした事業展開を行っております。

アルファフレーム + 装置 + 商事 = 高付加価値技術

アルファフレーム部門

経験豊富なCAD設計陣による技術設計支援・サービス
豊富な製品群“1500以上”による多彩なシステムの提供

装置部門

特定の業界に依存しない業務体系
先端技術力を持つ企業から積極的受注体制

3つの事業部門

商事部門

「メーカー機能」を活用した設備の導入提案営業
工業用砥石を中心とした工業生産財の提供





● アルファフレーム部門

日本の自動化装置業界で 25 年の実績を持つ“アルミ構造体モジュール & システム”「アルファフレーム[®]システム」は、多種のアルミニウムプロファイルとその接続ブラケット及びアクセサリパーツで構成された機械構造用アルミニウムフレームです。各種装置の筐体やカバーを製作する為の最適なプロファイル、パーツを揃えています。また、世界唯一のマーキングシステム[™]（フレームに直接組立に必要な情報をプリント）により敏速、確実な組立を行う事が可能です。

ALFA FRAME[®] SYSTEM

Automobile

Semiconductor/FPD/Clean

Microelectronics/Machine

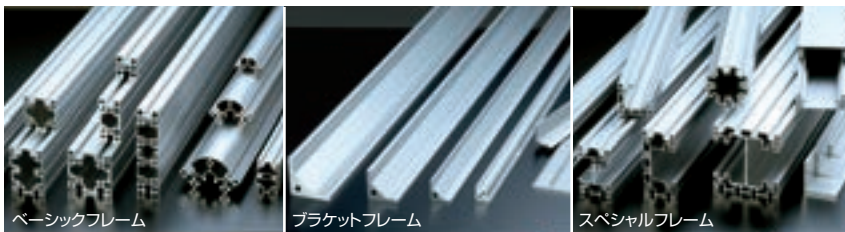
Pharmaceutical/Food



アルファフレーム®システムの優れた特徴

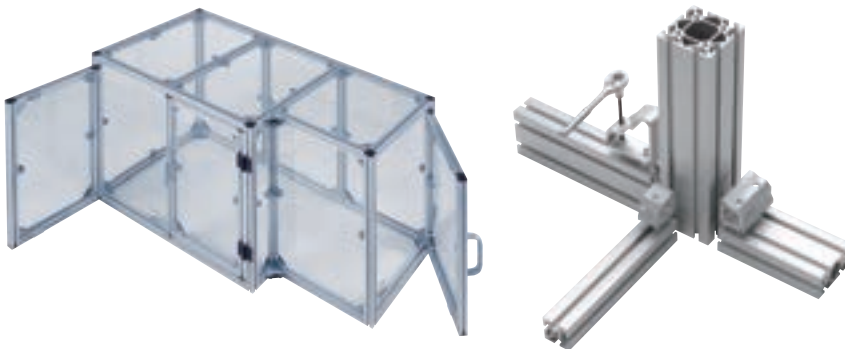
1. 充実した製品群

3グループのフレーム（ベーシックフレーム・ブラケットフレーム・スペシャルフレーム）から各種アクセサリまで、幅広い製品ラインアップで、お客様のあらゆるニーズにお応えします。



2. 仕様変更等も容易

溶接・塗装などの、わずらわしい加工が不要な為、急な設計変更や将来の増設にも容易かつ柔軟に対応が出来ます。



3. 幅広い分野に適用

機器取付部材の材料をはじめ、作業台や棚などの工業用品、さらには展示会用システム材など、多彩な分野で使用されています。

● アルミフレーム（アルファフレーム®）

当社が独自に開発したアルミニウム合金押出構造体で、スチール製の構造材に比べ、軽く強い特性を備えます。表面にはアルマイト処理にクリアコーティングが施してある為、後塗装が不要で耐食性にも優れた美しい光沢を長期間保ちます。



● ブラケット

フレームの接続は、溶接などの特殊な工法を用いることなく、ブラケットとボルトのみで容易に行えます。また様々なバリエーションの商品を取り揃えていますので、必要な強度・使用目的に合わせてご使用頂けます。



● アクセサリー

装置架台などを製作する際に必要となるアクセサリ類も各フレームに取付可能です。規格化されたフレームに容易に取付られるように製作された商品を豊富なラインアップで取り揃えていますので、必要用途に合わせてお選び頂けます。



● 装置部門

半導体・電子・精密機械・医薬品・食品業界まで、あらゆる用途に応じた洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化・省力化装置及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行っております。アルファフレームシステムを基本部材として使用することにより、製造の効率化や短納期化が可能となります。

また、仕様を規格化した製品だけでなく、生産ライン構築の個別ニーズに対応し、お客様の必要に応じた様々な製品開発も行っております。

● 電子部品関連

トナーカートリッジ搬送装置

セラミックコンデンサー

ノイズフィルター等の生産設備

検査装置、整列装置

マーキング装置

焼き付け装置、搬送装置

ディスクメディア製造装置

ディスクドライブケースのマーキング装置

核燃料整列装置

トレイ詰め、重量検査

二酸化ウランペレットの研削後カウント

圧入組立装置、気密検査装置

● 家電関係

部品加工ライン機械間搬送装置

ビデオデッキ、カメラのドラム

● クリーンブース

FPD 装置向け大型クリーンブース

半導体向けミニエンバイロメント

各種クリーンブース

● カバー

安全カバー、X線シールドブース

● 自動車部品関連

● 架台各種

● 軸受関連





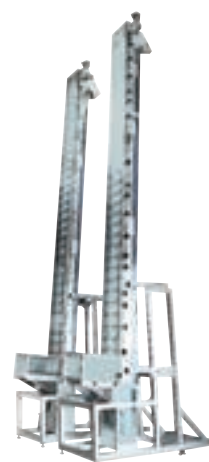
カスタムクリーンブース



クリーンストッカー



パレタイズ装置



コンベア



マシンカバー



クリーンブース



検査装置



標準洗浄機シリーズ (左からNCV200 / NCC200 / NCL200 / NCU100 / カラットくん)

● 商事部門

工業用砥石、工具・ツール等の消耗品と工場等の機械設備が主要な取扱商品です。これらは、リピート受注が多いことが特徴となっており、メーカー機能を持った商事部門として、安定したビジネスを展開しております。また、お客様のニーズに合わせ機械メーカーに注文し、当社装置部門が製作した自動搬送装置、洗浄機、検査装置等を組み合わせ、最適なフルオートメーションラインを提供しております。



油脂類



工業用砥石



工具・ツール

エヌアイシ・オートテック 直販サイト

NIC Direct

—エヌアイシ ダイレクト—

当社直販サイト「NIC Direct(エヌアイシダイレクト)」では、アルファフレームシステム及び関連製品をラインアップしており、ネットで注文が可能となっております。

価格はお求めやすい設定となっており、メーカー直販サイトのメリットを、最大限に活かしたサービスでお届けしております。

「NIC Direct」の開設により、より多くのお客様に NIC 製品をお届けすることが可能となり、高い評価をいただいております。



WEB価格でご提供
簡単見積・ご注文が可能
便利な「Myページ」機能付



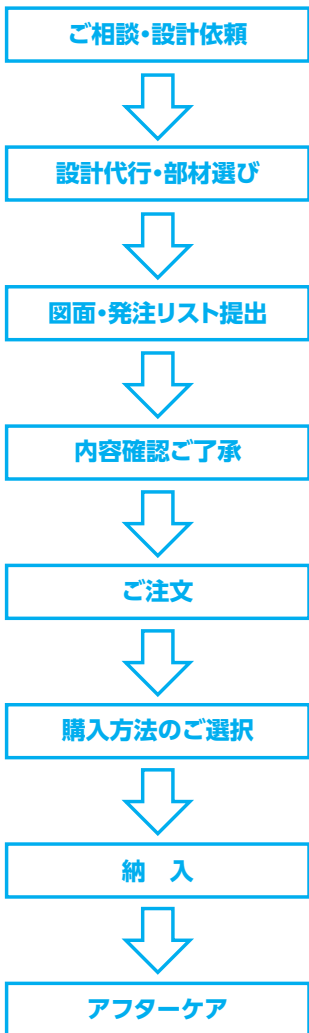
エヌアイシダイレクト
ホームページアドレス

<http://www.nic-direct.jp/>

販売製品 アルファフレームシステム製品(アルミフレーム、接続部品、アクセサリ)

アルミフレーム・トータルサポート・サービス カクチャ™

ご依頼から納入までの流れ



1 合理的にアルミフレームを使う方法
トータルコストダウンの検討及び実現

2 ご相談から納入までの技術者による
サポート

3 構造解析による
適正材料の選定

解析による設計最適化で部材25%削減可能です。

4 アルミフレーム専用CADシステム
によるコストカット

可動部や、複雑な構造など、
技術的な検討要素、
当社製品以外の作図の
場合は別途費用がかかる
場合があります。

データでのやりとり
各種組立用図面
Dxf Dwg Step など

5 マーキングシステムで簡単組立て
(有償オプション)

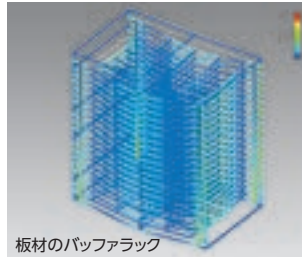
組立時間を短縮。
初めての組立でも安心。
設計の手間が省けます。

6 全国どこでも据付対応
(有償オプション)

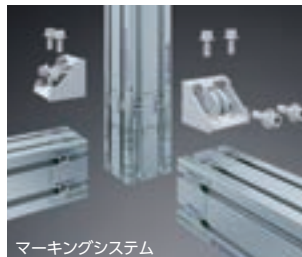
組立完成品のお届け、当社スタッフによる現地に組立据付け可能です。



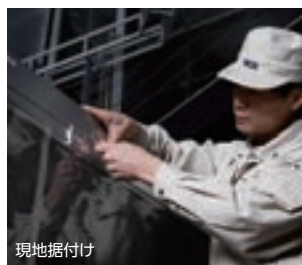
A.M.S(CADシステム)



板材のパッファラック



マーキングシステム



現地据付け

会社の概要 (平成26年3月31日現在)

社名	エヌアイシ・オートテック株式会社 NIC Autotec, Inc.
設立	昭和46年5月17日
資本金	156,100千円
従業員数	158名
事業所	
本社	〒930-0034 富山県富山市清水元町7番8号
東京本社	〒135-0063 東京都江東区有明三丁目7番26号 有明フロンティアビルB棟11階
流杉工場	〒939-8032 富山県富山市流杉255番地
立山工場	〒930-0272 富山県中新川郡立山町塚越 398番176号
開発センター	同上
アルファフレーム東海	〒448-0801 愛知県刈谷市板倉町一丁目6番地6
アルファフレーム関西	〒578-0965 大阪府東大阪市本庄西 二丁目4番29号
アルファフレーム九州	〒837-0907 福岡県大牟田市四箇新町 一丁目2番地

役員構成 (平成26年6月21日現在)

代表取締役会長	CEO	西川浩司
取締役社長		西川武
取締役		西尾謙夫
取締役		土山邦夫
取締役		野村良一
常勤監査役		藤島敏夫
社外監査役		土屋重義
社外監査役		白石康広

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

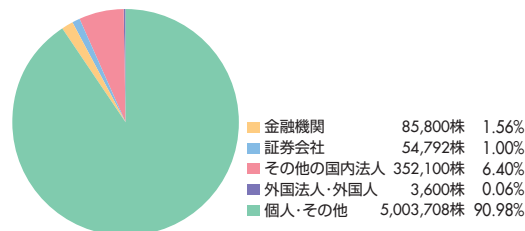
東京都港区港南2-15-3 品川インターシティ

株式の状況 (平成26年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 20,000,000株
 (2) 発行済株式の総数 普通株式5,500,000株
 (自己株式51,149株を含む)
 (3) 株主数 1,981名
 (4) 大株主の状況

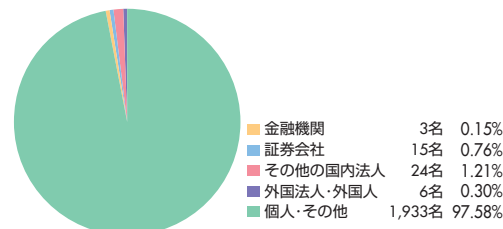
株主名	持株数
西川浩司	3,704,900株
三協立山株式会社	202,500株
エヌアイシ・オートテック従業員持株会	132,400株
ダイド一株式会社	70,000株
株式会社三井住友銀行	50,000株
西川武	50,000株
植田潤次郎	45,000株
吉川直樹	41,900株
大久保忠重	30,200株
高津伝動精機株式会社	30,000株

(5) 所有者別株主分布状況 (所有株式数)



(注) 自己株式51,149株は、「個人・その他」に含まれております。

(6) 所有者別株主分布状況 (株主数)



(注) 自己株式51,149株は、「個人・その他」に含まれております。



富山本社
TEL:076-425-0738 FAX:076-422-2712



立山工場・開発センター
TEL:076-463-5578 FAX:076-463-6678



流杉工場
TEL:076-422-2578 FAX:076-491-1877



アルファフレーム九州
TEL:0944-41-7707 FAX:0944-41-7708



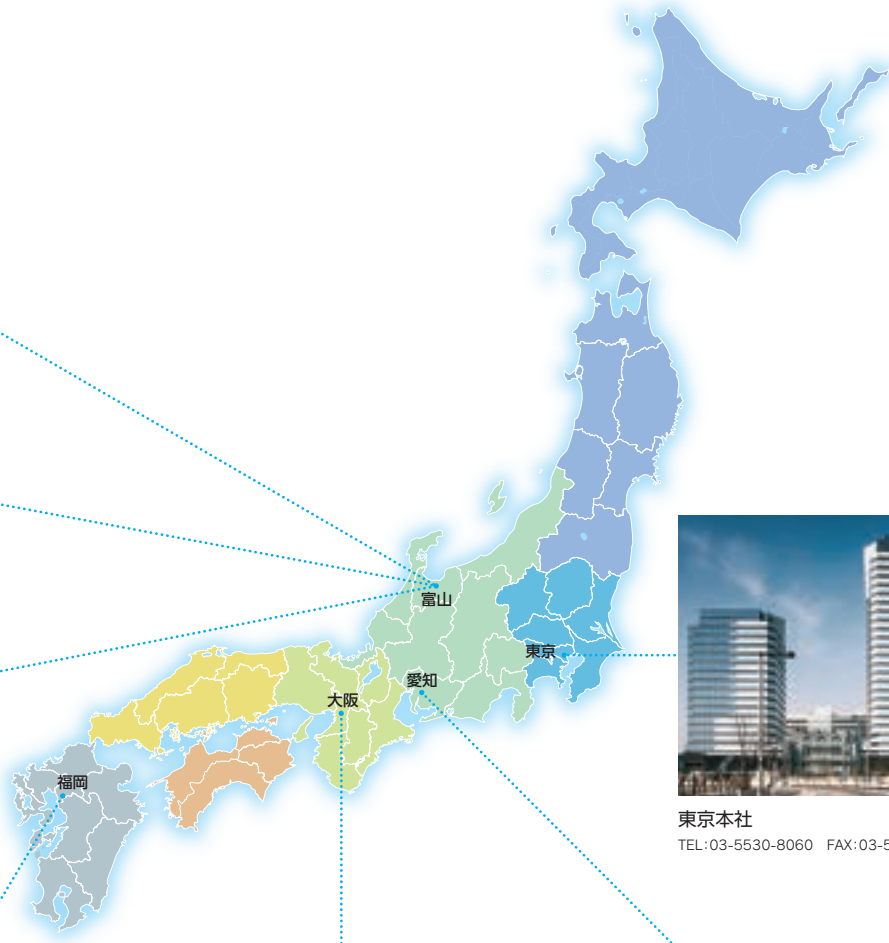
アルファフレーム関西
TEL:06-6747-2212 FAX:06-6747-2215



東京本社
TEL:03-5530-8060 FAX:03-5530-8070



アルファフレーム東海
TEL:0566-45-6802 FAX:0566-45-6803



事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 期末配当金 毎年3月31日
(中間配当を行う場合は9月30日)
そのほか必要があるときは
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
(インターネットホームページURL) <http://www.smb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きが出来ませんので、取引証券会社へご照会ください。

【公告の方法】

当社のホームページに掲載いたします。

〈<http://www.nic-inc.co.jp/>〉

ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることが出来ないときは、日本経済新聞に掲載します。

【上場金融商品取引所】

東京証券取引所



NIC Autotec[®], Inc.

富山本社

〒930-0034 富山県富山市清水元町7-8 TEL : 076-425-0738 FAX : 076-422-2712

Copyright © NIC Autotec, Inc. All Rights Reserved.